

エイズ広報を行う際の注意事項（不適切な表現等）

不適切な表現	説明・望ましい表現
エイズ撲滅、エイズ抑圧、エイズ根絶、エイズをたたきのめす、エイズをやっつける、ストップエイズ	患者・感染者を排除しようとするイメージを与えます。 <u>エイズ克服</u> 、 <u>エイズのまん延防止</u> 、 <u>患者・感染者に対する差別と偏見の解消</u> 、という表現が望ましい。
エイズ汚染、エイズ禍、ウイルスを撒き散らす	患者・感染者が社会を汚しているというイメージを与えます。
理性ある行動をとるべき、節度ある行動をとるべき	患者・感染者はだらしない人というイメージを与えます。
ハイリスクの人、エイズ多発の国、エイズ先進国	危険なのは、人ではなくハイリスクな行動です。
（感染すると／発病すれば）必ず（１００％）死ぬ	近年、治療の進歩により、HIV 感染者が早期に診断されれば、服薬を続けることでエイズ発症を抑えることができます。また、エイズを発症したとしても、適切な治療を受けることで「必ず（１００％）死ぬ」ということではありません。
エイズの恐怖・魔の手、忍び寄るエイズ	いたずらに恐怖心をあおる表現は避けてください。
ホモ（ホモセクシュアル）	ホモは蔑称として使われることが多いです。 <u>MSM*</u> 、 <u>男性同性愛者</u> 又は <u>ゲイ</u> であれば適切です。 *MSM（Men who have sex with men）：男性で同性間性的接触を行う者。（バイセクシャルも含まれる。）
レズ	ホモとセットで蔑称として使われています。正確に <u>レズビアン</u> 又は <u>女性同性愛者</u> であれば適切です。
多数との無防備なセックス	相手が多数でなければ大丈夫という誤解を与えます。
コンドームを使うのは男の役割	女性用コンドームの使用もありうること、また、同性間での性的接触もあります。

※エイズに対する後ろ向きのイメージを払拭するため、明るいデザインの作品が好まれます。御協力の程よろしく申し上げます。

※キャッチコピーとして単独で「STOP AIDS」がよく用いられますが、愛知県エイズ対策会議で、患者・感染者を排除している言葉で相応しくないとの意見がありましたので、「STOP AIDS」の単独での使用は望ましくありません。